



千葉ウエストワイズメンズクラブ 2025年10月 (No.61)

会 長	長尾昌男	国際会長	エドワード・オン(シンガポール)	信念、愛、行動
副会長	吉崎 勇	アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさし)	信念と愛を持って行動しよう!
書 記	高田一彦	東日本区理事	山下 真(十勝)	ワイズのらしさ再発見
会 計	内田久昭	関東東部部長	鈴木 雅博(東京江東)	CHANGE (変革) 若者から発信!
担当主事	平田真姫	千葉ウエストクラブ	長尾会長 主題	ワイズらしくYMCAにつくそう!

※千葉ウエストクラブ 連絡先 日本基督教団船橋教会 273-0865 船橋市夏見6-6-6 ☎ 047-494-3586

今月の聖句

「あなたがたがわたしを選んだのではない。
わたしがあなたがたを選んだ。」
(ヨハネによる福音書第15章16節)

千葉ウエストワイズメンズクラブ 創立5周年記念 10月例会

「ASF(Alexander Scholarship Fund)」強調の月
アレキサンダー奨学基金

日 時 **10月18日(土) 12時～14時**
場 所 「鳥元」船橋フェイス店(船橋FACE 地下1階)
司 会 吉崎 勇 君 受 付 内田久昭君

開会点鐘	長尾昌男会長
ワイズソング・ワイズの信条	
聖書朗読	内田久昭君
ビジター・ゲスト紹介	
会長報告	長尾昌男会長
YMCA報告	平田担当主事
誕生日祝い	内田久昭君
午餐会	感謝 内田久昭君
乾杯	千葉クラブ 廣田光司会長
ビジタースピーチ	
ドライバー(設立の思い出)	高田一彦君
閉会の言葉	高田一彦君
閉会点鐘	長尾昌男会長

◎ 例会出席者は、下記へ連絡を
高田書記 090-8509-0701
又は、メール takata39@outlook.com へ
お願い致します。

9月のデータ 会員 8名
例会出席者:18名(会員8名、千葉クラブ8名、ゲスト1名、
ビジター1名)、講演会のみ出席者:13名
出席率:100% ドライバー:8,250円(累計 29,250円)

千葉・千葉ウエスト両クラブ 9月合同例会報告

日 時: 9月13日 13時～15時 於: 船橋教会 信徒館
出席者: 内田、岡田、佐藤、高田、長尾、平田、守安、吉崎
千葉クラブ: 青木夫妻、池田、倉石、陶山(Zoom)、廣田、
古屋、山添 ビジター: 小仁恵子(東京グリーン)
ゲスト: 講演会 講師 賛育会 大江 浩氏
講演会のみ出席者: 小原史奈子(東京たんぽぽ) Zoom、
米田芳生船橋教会牧師、シオン幼稚園廣田雅子園長、
千葉YMCA会員(大垣正明、門井朗、橋本千亜紀)、
船橋教会会員(鈴木秀信夫妻、水谷眞司夫妻、
タカハシアヤ)、児童相談所(坂本さん)、
清宮政宏(大学教員・千葉ク健康ウォーク準常連) Zoom

8月の納涼例会に引き続いての千葉クラブとの合同例会は、直前に賛育会の大江浩氏を招いて特別講演「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」を一般公開として両クラブ16名の他、ビジター2名、ゲスト12名が参加して開催され、講演後の質疑応答も含めた有意義な時間を持った。〈講演内容は次頁参照〉

例会に入っては、倉石昇君の司会、廣田光司千葉クラブ会長の開会点鐘、ワイズソング・ワイズの信条(割愛)、高田一彦君による聖書朗読、長尾会長による千葉ウエストクラブ創立5周年の10月記念例会の紹介、廣田千葉クラブ会長の9/27(土)の健康ウォーキングの紹介などがあり、平田担当主事からは、9/18(木)に船橋市立高根東小学校における「障がい者理解・体験教室」がコロナ禍以降5年ぶりに再開されることや、11/8(土)に予定されている千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランへのアピール等のYMCA報告があった。

その後、千葉クラブの陶山ワイズ、廣田・池田メネットの誕生祝いがあり、ドライバーでの各自の近況報告、古屋朝則君の閉会の言葉、長尾昌男千葉ウエストクラブ会長の閉会点鐘で、9月合同例会の幕を閉じた。



2025年9月13日に開催した『特別講演会』報告 社会福祉法人 賛育会 赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト 事務局長 大江 浩 氏

1. はじめに…キリスト教セツルメントでの経験から

●JOCS(日本キリスト教海外医療協力会)ータンザニア・パキスタンの医療者の働き

●社会福祉法人興望館(創立1919年ー日本キリスト教婦人矯風会外国人宣教師による)

YMCAと繋がりのある2つの地域密着型のセツルメントの活動ー途上国の母子保健や新生児小児医療、また日本のこども家庭福祉、児童養護・社会的養育の現場から見えるー「子どもたちのSOS」の問題は、私の経験の中で繋がり、賛育会「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」に結びついています。

2. 社会福祉法人賛育会(創立1918年)「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」について

●キリスト教使命に基づく隣人愛の実践

東京大学YMCAの有志が始めた下町での妊婦乳児相談所(1918年)、日本初の庶民向けの産院(1919年)の活動は、賛育会の原点であり、隣人愛の実践の歴史そのものです。

●賛育会が取り組む3つの理由

賛育会の原点: 困窮下の母子の保護・保健・救済／キリスト教の隣人愛と実践: ともに生きる社会への新たな使命／看過できない”静かなる非常事態”(Silent Emergency)＝予期せぬ妊娠や孤立出産＝困窮下の母／嬰兒の遺棄と貧困・虐待・家庭崩壊等

●賛育会病院の現状・実績

母子生活室への延相談件数／介入が必要だった分娩／出産における国籍の多様性

●プロジェクトの3つの事業

「妊娠したかもSOS」(夜間・匿名相談): 2024年7月開始

「内密出産」: 2025年3月末開始

「ベビーバスケット」(匿名での赤ちゃんの預かり): 2025年3月末開始

●「妊娠したかもSOS」について

若年層の中高生・大学生の女子・女性からの相談が多くありました。予期せぬ妊娠への悩みが多く、孤立無援、追い詰められた状況下のSOSコールで、最近は男性からの相談も増えています。

●「内密出産」と「ベビーバスケット」について

NHKクローズアップ現代(6/11)で放送されたように、内密出産とベビーバスケットが複数件ありました。様々な事情が背景にあり、病院は24時間365日の体制で備えています。

●社会のセーフティネット、命のネットワーク

一病院でできることは限られています。様々な社会資源が連携・協力し合いながら、「みんなで支える」社会のセーフティネット、命のネットワークをつくっていく必要があります。

●プロジェクトのVision, Missionーすべてのいのちが守られる社会を目指して

・内密出産とベビーバスケットは、母の”最後の砦”／赤ちゃんの命の”最初の一步”です。

・プロジェクトが”不要となる社会”を願って、”静かなる非常事態”と向き合います。

・”すべての人の命が守られる、即ち”誰一人取り残さない”社会に向けて取り組みます。

●プロジェクトの根拠

「最も小さき者の一人にしたのは、即ち、私にしたのである」(マタイ25章40節)

「私たちは大きなことはできません。小さなことを大きな愛をもって行うだけです」(マザー・テレサ)

「障がい者理解・体験教室」5年振りに復活！

9月18日(木)、船橋市立高根東小学校の4年生87名を対象に、車椅子と視覚障がいの体験教室に、21名のボランティア(内、千葉ウエスト7名、千葉クラブ3名)で行いました。



第42回「夏見のおうち子ども食堂」

9月28日(日)9時～14時、船橋市夏見公民館の実習室(1階)と、和室(1階)で開催された。前日のJAへの野菜の受け取り・運搬に内田ワイズが協力。当日は長尾がボランティアとして、もぐもぐチームで調理に参加した。

「わくわく(交流)チーム」は、神田外語大ボランティアサークルの5名の皆さん共に「防災ワークショップ」が開催され、ペットボトルを使いランタン作りに取り組んだ。

「もぐもぐ(調理)チーム」は、初の”おにぎらず”ランチを80食分準備しました。中身は、海苔と葉っぱ・薄焼き卵・プルコギ・きんぴらごぼう。その他は、お豆腐のお月見白玉・冬瓜と春雨スープ・カリカリのり塩なすびチップスを調理しました。子どもたちは、”おにぎらず”に挑戦して楽しいランチタイムになりました。

次回は、10月19日(日)9時からの開催予定で、ハロウィン志向となります。(長尾昌男)



今後の予定

10/11(土)	千葉クラブ10月例会(13時～15時)
10/18(土)	千葉ウエスト創立5周年記念10月例会(12時～14時 船橋FACE B1F「鳥元」)
10/19(日)	夏見のおうち子ども食堂(9時～)
10/25(土)	千葉Yチャリラン第5回実行委員会(10時～12時 船橋FACE 5F.)
11/1(土)	船橋教会附属シオン幼稚園バザー(9時45分～13時)
11/6(木)	千葉ウエスト事務例会 Zoom(20時～21時)
11/8(土)	第28回千葉YMCA インターナショナル・チャリティーラン2025(9時半～14時 船橋市運動公園) 集合8時 千葉クラブ11月例会 <上記で兼ねる>
11/15(土)	千葉ウエスト例会(12時～14時)
11/16(日)	夏見のおうち子ども食堂(9時～)

“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT “